



令和6年10月1日

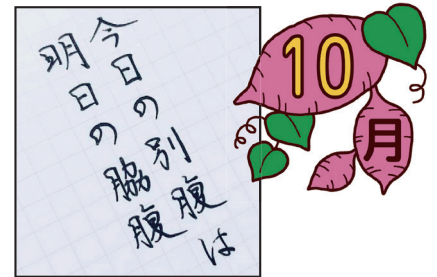
らいかい恵子 議員便り 271号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

随兵寒合(ずいびょうがんや)、藤崎宮例大祭の頃には涼しくなると言われていますが暑いですね。私は暑さに負けず、「来海肥ゆる食欲の秋！」です。アハハハ(_)-☆

来海は、議員便りを毎月一人で8000枚配っています。

【令和6年9月議会一般質問から抜粋】



相談にのってくれる第一歩目の役所が
合志市役所!

若手起業家支援について

来海: 知事や市長が、若い人の起業を応援したいと発言されています。私も若い起業家が、本市でたくさん誕生しているのを見て質問します。菊池市では若手起業家育成の菊池起業塾を実施していますが、本市でやってみる考えはありませんか。

産業振興部長: 本市では、創業予定者及び創業後2年目未満の事業者を対象にした商工会主催の創業スクールを年4回1セットとして実施し、中小企業診断士による個別相談会も開催しています。また、市主催による女性創業セミナーでは、女性起業家によるトークやワークショップを実施し、女性の感性をビジネスで生かすための支援も行っています。

来海: それらの周知方法と、コロナ禍でしたが直近の実績を教えてください。

産業振興部長: 周知方法は、市主催の女性創業セミナーは、広報こうし・市のホームページ・X(ツイッター)のほかに、創業予定者等が閲覧する起業家ネット等のサイトからも周知しています。令和2年度～令和5年度に市内で90名が創業し、うち36名が女性です。

来海: 本市在住でなくても、本市で仕事をしたいという意思がある方は受講できますか。

産業振興部長: 対象者は本市で創業を考えている方と、創業をされて間もない方です。

来海: 商工会に入っていない、起業したばかりの方々の相談窓口はどこにあるのでしょうか。

産業振興部長: ルーロ合志(旧西合志庁舎)に商工会や金融機関を集積し、創業予定者

に対して一体的な相談窓口を設け対応しています。また、商工会では、加入・未加入に関わらず、創業等の相談を受け付けています。市役所でも商工振興課が相談窓口となり、本市の創業支援事業の説明などを行うとともに、必要に応じて商工会へ案内しています。さらに、中小企業庁・九州経済産業局へ職員を派遣し、専門知識の習得、さらには人脈づくり、情報収集と創業者や企業に対する支援体制も強化しています。

来海: ルーロ合志は、貸事務所として起業したばかりで事務所を借りれない若い起業家が、駐車場もあって安い家賃で借りて何年かして巣立っていく方法を取って満杯で順番待ちだそうです。昼間多くの方が外で仕事しているので小さな事務所がよく、事務所を構えていることで社会的信用がつきます。管理者の(株)こうし未来研究所が宅配物なども取り次いでくれ、若手起業家にとってルーロ合志は聖地じゃないでしょうか。武蔵野台にあるファーストプレイス合志(旧雇用促進住宅)は、国から譲り受けて丸8年です。その時に、10年たった次の使用方法を考えると全員協議会で説明を受けたのを覚えています。少子高齢化で都会の大型団地も高齢者が多く空き家が増えたので、若い起業家が自費でリノベーション(住む人の暮らしに合わせて間取りや機能を刷新する改修のこと)して古い団地を活性化している成功例があります。ファーストプレイスも2棟ありますが、一部を若い起業家のために第2のルーロ合志のように貸し出してはいかがでしょうか。



ルーロ合志



総務部長: ファーストプレイス合志は、令和8年6月に現在の契約が満了になります。現時点では利用方法は未定ですが、提案いただいたルーロ合志のような活用方法も参考としながら、様々な利用形態も視野に施設の有効利用に努めていきたいと考えています。



ファーストプレイス合志

来海: クリエイター塾を始めて10年、今までで545人が受講し、5社が起業、72人の就業につながっています。市長室隣の応接間にクリエイター塾生がつくったポスターが飾ってあり、実が結んだと喜んでます。今後、どのように若手起業家を応援育成していくのか。

産業振興部長: 創業前の相談やスタートアップ支援に重点を置っていますが、やはり創業

後、経営が安定するまでは注視していく必要があります。事業者への定期的な業況調査や商工会との情報共有を密にするなど、創業後のフォローアップ支援を強化し、伴走型支援に引き続き努めていきたいと考えています。



来海:市長は元商工会の会長ですが、若手起業家育成についての考えを伺います。

市長:私は第一に、18歳から合志市外や他県に学校・就職で出ていくことが非常に寂しいです。中学生と話をすると合志市に「夢がない、魅力を感じない」と就任直後の会議の中でよく言われました。ど



ういうことかと言うと、ゆめタウンのように人がいっぱい集まってくるものをですね。また就職も、我々の時代は学校の先生や警察官になりたかったのが、今はユーチューバーや映画に携わりたい等、感覚で職業観というのを子どもなりに持っているんだろうと思います。本市で働きたいとか、起業したいなどはなかなか出てこない。もう一つ、女性にはどういった働く場所がいいのか。情報を得て、勉強をして、そして多額借金ではスタートアップできないので、支援をするということで、ルーロ合志の中に商工会や金融機関に入っただき、保証協会等の保証も我々が肩代わりしましょうというような制度もつくりました。来海議員の質問にもありましたが、創業支援をやっていることを市民に伝えるために広報官を迎え情報の発信の仕方をチェックしてもらっています。私のところにも、クリエイター塾卒業生が3人で会社をつくったが現実的には仕事がなかなかありませんという相談もきています。チャレンジャーのみなさんが、仕事をやれる環境をつくるのが一番です。私も過去何回か会社を創業したことがありますが、継続していくのは生半可ではありません。商工会の会長ときに、企業の激減＝事業承継ができない、要は若い人がお父さんの会社に魅力を感じていないというのがありました。今、全国の商工会が力を入れているのは事業承継です。私は合志市に来ると、何をどこに頼んでいいかではなくて、駆け込み寺の第一歩というかたちで相談をしに行けるまち。『何でも相談にのってくれる第一歩目の役所が合志市役所です!』というブランドにしたいと思い、その中の一つが創業支援になろうかと思っています。

来海:ありがとうございます。何でん駆け込み寺の市役所を市民は頼りにしていますので、よろしく願います。

子どもたちは大人の背中をみえています！

9月16日、杉並台自治会主催『敬老の日感謝の集い』が開催され、南ヶ丘小学校5年生米村謙信君と4年生中西美心ちゃんが、お祝いの言葉を述べました。近頃の子どもはと大人はよく言いますが、子どもたちはしっかりと大人の背中をみて育っています。二人のお祝いの言葉が素晴らしく、会場が感動に包まれました。謙信君と美心ちゃん、ありがとうございました。2人に了解を得たので、お祝いの言葉を紹介させていただきます。



僕は地域の防犯パトロールさんや、おじいちゃん・おばあちゃんから、いろいろなことですが助けてもらいました。一つ目は二年生のころ、ポケットに手を入れて横断歩道を渡っていたら、地域の防犯パトロールさんに「手をポケットに入れて歩いたら危ない。」と言われて、その日から寒くても三年間続けています。僕は、とってもいい経験をする事ができたなと思いました。

二つ目は僕が下を向いて歩いていた時に、地域の見守り隊の人が注意してくれて、横から来た車をよけることができました。もしも、見守り隊の人が声をかけてくれなかったら、その時大けがをしていたかもしれません。本当に、感謝しています。

三つめは、いつも僕は元気もらっています。例えば、うつわ屋の前の駐車場にいるおじちゃん、お饅頭屋さんの前におじちゃん、スクランブル交差点におじちゃんや来海さんから、とても元気もらっています。僕は助けてもらっただけでなく、命を救ってもらい大事な経験をしたと思います。これからもよろしくお願いします。




敬老の日おめでとうございます。毎日、登下校の時やご近所でお会いした時に温かく見守り、声をかけてくださりありがとうございます。優しく見守ってくださるおかげで、私たち小学生は安心して登校しています。いつまでもお元気で、私たちを見守ってください。

* 第7期障がい福祉計画と第3期障がい児福祉計画に基づく災害時の避難についてと、フレンドリーオンラインについては来月報告させていただきます。〈()〉

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

 らいかい恵子

